

2021 年 1 0 月 3 1 日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は 9 時より。11 時からは録画を視聴できます。

10月31日 聖日礼拝																									
後奏 感謝祈祷	報告	祝禱	頌栄金	献金	会衆賛美	説教	聖書朗読	使徒信条	交主の祈り	会衆賛美	会衆賛美	主の祈り	礼拝祈祷	交主の祈り	詩篇19篇7~14節	マタイの福音書15章 1~11節	根拠はみことば 荻野泰弘牧師	聖歌469(1, 2節)	聖歌376	聖歌	イザヤ書49章13節	「天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小	りせよ。山々よ、歓喜の声をあげよ。 主がご自分の民を慰め、その苦しむ 者をあわれまれるからだ」アーメン	躍	
																									前奏
																									招詞

■聖歌 158 「輝く姿は」(1, 2 節)

- ①輝く姿は目にこそ見えね キリストみずから立てたる都
救いの妙(たえ)なる高き石垣(いしがき)
悪魔は攻(せ)むとも揺るぐことなし
- ②都の中なる命の川は 御神(みかみ)の愛をば絶えず注げば
渴ける民なく 飢えし者なき 豊かに天(あめ)なる恵みに潤う

■神の国と神の義を

神の国と神の義を まず求めなさい
そうすればみな与えられる ハレル ハレルヤ

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名(みな)をあがめさせたまえ。御国(みくに)をきたらせたまえ。御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦(かて)すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救い(きう)いだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇19篇7～14節

- 7 主のおしえは完全で
たましいを生き返らせ
主の証しは確かで
浅はかな者を賢くする。
- 8 主の戒めは真っ直ぐで
人の心を喜ばせ
主の仰せは清らかで
人の目を明るくする。
- 9 主からの恐れはきよく
とこしえまでも変わらない。
主のさばきはまことであり
ことごとく正しい。
- 10 それらは 金よりも 多くの純金よりも慕わしく
蜜よりも 蜜蜂の巣の滴（したた）りよりも甘い。
- 11 あなたのしもべも それらにより戒めを受け
それを守れば 大きな報いがあります。
- 12 だれが 自分の過（あやま）ちを悟ることができるでしょう。
どうか 隠れた罪から私を解き放ってください。
- 13 あなたのしもべを 傲慢（ごうまん）から守ってください。
それらが私を支配しないようにしてください。
そのとき私は 大きな背（そむ）きから解き放たれて
全（まった）き者となるでしょう。
- 14 私の口のことばと 私の心の思いとが
御前（みまえ）に受け入れられますように。
主よ わが岩 わが贖い主（あがないぬし）よ。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 15章 1～11節

- 1 そのころ、パリサイ人たちや律法学者たちが、エルサレムからイエスのところに来て言った。
- 2 「なぜ、あなたの弟子たちは長老たちの言い伝えを破るのですか。パンを食べるとき、手を洗っていません。」
- 3 そこでイエスは彼らに答えられた。「なぜ、あなたがたも、自分たちの言い伝えのために神の戒めを破るのですか。」
- 4 神は『父と母を敬え』、また『父や母をののしる者は、必ず殺されなければならない』と言われました。
- 5 それなのに、あなたがたは言っています。『だれでも父または母に向かって、私からあなたに差し上げるはずの物は神へのささげ物になります、と言う人は、
- 6 その物をもって父を敬ってはならない』と。こうしてあなたがたは、自分たちの言い伝えのために神のことばを無にしまいました。
- 7 偽善者たちよ、イザヤはあなたがたについて見事に預言しています。
- 8 『この民は口先でわたしを敬うが、
その心はわたしから遠く離れている。
- 9 彼らがわたしを礼拝しても、むなししい。
人間の命令を、教えとして教えるのだから。』
- 10 イエスは群衆を呼び寄せて言われた。「聞いて悟りなさい。
- 11 口に入る物は人を汚しません。口から出るもの、それが人を汚すのです。」

■聖歌 469 「さかえの王にます主の」(1, 2節)

- ①栄えの王にます主の みことばに堅く立ちて
神には御栄(みさか) えあれと 高く歌い叫ばん

※立て 立て 永久(とわ)に変わらぬみことばを
信じ 立て 神のみことば立て

- ②世は変わるとも変わらぬ みことばに堅く立ちて
惑(まど)い 恐れ^{おそ}の嵐に 心は乱されじ

■頌栄 聖歌 376 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
^{みさかえ}御栄えあれ ^{みさかえ}御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心をつにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」